

平成20年度 地域密着型金融の取組み状況

取組み項目	具体的取組策	取組み実績 (平成20年4月 ~ 平成21年3月)
地域密着型金融の具体的な取組み		
(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
産学官の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・銚子起業支援育成委員会に継続参加し、銚子市や銚子商工会議所との連携を図る。 ・千葉科学大学との連携を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・銚子起業支援育成委員会に継続参加しています。ただし、今年度は審議案件がありませんでした。 ・20年8月、千葉科学大学 危機管理学部の学生1名をインターンシップ実習生として受入れました。(本部4日、営業店1日の計5日間)
法務、財務、税務等の外部専門家と連携した取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・若手経営者勉強会「ちょうしんきん経営塾21」の第2期を開催する。 ・会員制情報提供サービス「ビジネス知恵袋」の提供先を拡大する。 ・経営者セミナーを継続開催する。 	<p>[ちょうしんきん経営塾21]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年 5月、第1期生の12回目(最終)の勉強会『価値組への中期ビジョン策定法』を開催し、第1期が終了しました。 ・20年 5月、第2期生を募集し、27名の会員の参加を得ました。 ・20年 7月、第2期生の発会式および第1回目の勉強会『伸びる会社の条件』を開催しました。 ・20年 9月、第2回目の勉強会『人を動かす技術』を開催しました。 ・20年11月、第3回目の勉強会『計数管理の基本の基本』を開催しました。 ・21年 1月、第4回目の勉強会『経営分析の基本』を開催しました。 ・21年 3月、第5回目の勉強会『わが社の経営を語る』を開催しました。 <p>[ビジネス知恵袋]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員増加の活動を継続して行いました。(会員数 39先) <p>[経営者セミナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21年3月、『わが社の経営を語る』をテーマに、経営者セミナーを開催しました。
M & A 業務の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・信金キャピタルからのM & A 案件情報を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金キャピタルからのM & A 案件情報を活用し、成約に向けて努めましたが、今年度の成約はありませんでした。 案件情報：譲渡企業19件、買収企業59件
資金繰りや売上げ等に係る経営改善指導		<p>[経営改善支援活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常先を除く取引先1,467先のうち、30先のお客さまの経営改善支援活動に取り組みました。 経営改善支援取組み率 2.0%
中小企業再生支援協議会の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画策定支援および支援活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組み先30先のうち、20先のお客さまの再生計画(当金庫独自の再生計画を含む)を策定しました。 再生計画策定率 66.7%
整理回収機構の企業再生スキームの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・外部再生支援組織の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組み先30先のうち、12先のお客さまがランクアップしました。 ランクアップ率 40.0%
中小企業基盤整備機構のファンド等の活用		<p>[事業再生支援活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会を活用した事業再生支援先4先のうち、3先について協議会による再生スキームが策定され、同スキームを実行しました。
再チャレンジ信用保証制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・県制度等再チャレンジ信用保証制度の利用により、開業資金提供を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当案件が無く、取扱いはありませんでした。
政府系金融機関との連携による中小企業施策の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・政府系金融機関等を活用した、お客様や地域のニーズに対応できる金融手法の導入を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年5月、千葉県農業信用基金協会と債務保証契約および業務委託契約を締結しました。 ・20年5月、農林漁業金融公庫および千葉県農業協会共催のセミナーに参加し、情報交換を行い、農林漁業金融公庫職員とA B Lの取扱いについて協議を実施しました。 ・20年8月、A B Lの基礎的な内容について審査部内において内部研修を実施しました。

平成20年度 地域密着型金融の取組み状況

取組み項目	具体的取組策	取組み実績 (平成20年4月 ~ 平成21年3月)
地域密着型金融の具体的な取組み		
(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
目利き能力の向上、人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 目利き力養成講座などの外部研修、営業店職員を対象とした庫内研修、審査部職員を対象とした内部研修を計画的に実施し、事業基盤である中小零細企業の実態的な審査管理能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全信協・県信協が主催する目利き力養成講座、企業再生支援講座などの外部研修に職員を派遣しました。(12講座・28名参加) 20年5月、業務課長および営業課長を対象に融資審査のポイント等についての内部研修を実施しました。(56名参加) 20年5月から12月、業務課長および営業課長を対象に審査管理能力の向上を目的とした審査管理トレーナーを実施しました。(1名につき3日間、合計56名参加) 20年6月、営業課長および営業課員を対象に外部講師を招いて事業所融資開拓能力向上を目的とした内部研修および実践訓練を実施しました。(57名参加) 20年6月、営業課員を対象に審査部および管理部による審査管理能力向上を目的とした内部研修を実施しました。(80名参加)
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域事業者等のニーズを踏まえて導入した無担保事業性ローン商品の推進を図る。 保証協会融資の推進を図る。 茨城県信用保証協会との提携商品を導入する。 農業者向け融資の基盤を整備し開拓する。 A B L (動産債権担保融資)商品を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 期間限定商品としていた無担保事業者ローン「ビジネス-One」を期間延長して推進しました。 実績 29件 191百万円 (商品導入後累計実績 372件 3,010百万円) 19年5月に導入した無担保事業者ローン「ビジネスシンプル」を継続して推進しました。 実績 114件 84百万円 (商品導入後累計実績 258件 259百万円) 20年2月に導入した個人事業主用の千葉県信用保証協会提携ローン「アクティブ1000」を継続して推進しました。 実績 124件 591百万円 (商品導入後累計実績 215件 1,056百万円) 20年10月より、金融仲介機能発揮に向け「緊急保証制度」「セーフティネット保証」等を推進しました。 実績 337件 4,277百万円 保証協会保証付融資の貸出金に占める残高比率10%を目指し積極的に推進しました。 20年3月末 8.53% 21年3月末 11.22% 20年4月、茨城県信用保証協会との提携ローン「ちょうしん100」「イマージ」の取扱いを開始しました。 実績 「ちょうしん100」 19件 342百万円 「イマージ」 2件 21百万円 (合計 21件 363百万円) 無担保農業者ローン「みのり」について、19年10月に融資上限を増額するなど商品性の拡充を行い推進しました。 実績 44件 107百万円 (商品性拡充後実績 128件 260百万円) 20年5月、千葉県農業信用基金協会と債務保証委託契約を締結しました。 20年8月、同協会債務保証による農業関連制度融資の取扱いを開始しました。 実績 30件 428百万円 事業用車両を担保とした新商品の導入に向けて、保証会社およびリース業者と打ち合わせを実施しました。 20年5月、A B L 研究のため農林漁業金融公庫および農業協会共催のセミナーに参加しました。
シンジケートローンの活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業のシンジケートローン案件に継続して取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数エージェントと定期的に情報交換を行い、具体的な協議を実施し、取組みました。 実績 6件 5,450百万円 P F I (民間資金等の活用による公共施設等の整備)案件について継続して協議を進めています。 案件 1件
中小公庫C L O活用の検討	<ul style="list-style-type: none"> 中小公庫C L O (ローン担保証券)の活用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本政策金融公庫C L Oの活用に向けて公庫担当者との継続的に協議を行いました。

平成20年度 地域密着型金融の取組み状況

取組み項目	具体的取組策	取組み実績 (平成20年4月 ~ 平成21年3月)
地域密着型金融の具体的な取組み		
(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
弁護士による各種無料相談会の拡充	・無料で実施しているお客様相談サービスの拡充を図る。	・平成元年にスタートした法律・税務・労務管理・年金のお客様無料相談サービスを毎月継続して開催しました。 開催実績 13回 相談件数 21件
若い世代や高齢者等への金融経済知識の普及活動の実施	・地元中学、高校および大学が実施している就業体験(インターンシップ)の積極的な受け入れを行う。	・20年8月、千葉科学大学 危機管理学部の学生1名をインターンシップ実習生として受け入れました。(本部4日、営業店1日の計5日間)
	・公共団体等との連携による高齢者等を対象とした金融経済知識の普及活動を実施する。	・20年10月、地元老人クラブにお伺いして「ちょうしんきん出前教室」を開催し、振り込め詐欺の手口と詐欺にあわない方法をテーマに講演を行いました。(参加者26名) ・20年11月、小学生向け金融・経済教育のDVD教材(社団法人しんきん保証基金制作)を、当金庫エリア内115の小学校に寄贈させていただきました。
コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資	・毎年開催している「若手社員研修会」において金融経済知識の普及活動を実施する。	・20年4月、地域事業所の若手社員を対象とした「若手社員研修会」のカリキュラムに、金融経済の基礎知識(預金・融資・多重債務について)を組み入れて開催しました。(参加者40名)
	・組織形態、設立目的等に応じた融資手法を検討のうえ、個々の状況に応じた支援策を実施する。	・今年度の検討案件はありませんでした。